

あなたの一歩が 世界を変える。

国際課題に向き合う。
白熱の3日間

主催
京都大学成長戦略本部

後援
一般財団法人三菱みらい育成財団



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

MMFE

国際開発プランニングコンテスト2024

2024年8月19日-8月21日

会場 ハートンホテル京都 / 京都大学

※8月3日に事前オンラインセッションを開催

講師

真鍋 希代嗣 (京都大学成長戦略本部特任准教授、元世界銀行コンサルタント、元 JICA 外部専門家、元マッキンゼー)
樋口 辰徳 (国際協力機構 (JICA) 民間連携事業部 企業連携第1課 課長、元経営コンサルタント、元国連代表部外交官)

ゲストスピーカー

ハジアリッチ 秀子 (国連開発計画 (UNDP) 駐日代表)
※講師・スピーカーは変更の可能性があります

参加費 | 無料 (交通費及び食事は自己負担)

募集人数 | 50名程度

申込先 | <https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/event/place/other/15600.html>

対象者 | 国際開発に関心がある高校生および大学1・2年生

申込締切 | 2024年7月21日

問合せ先 | ims@saci.kyoto-u.ac.jp



国際開発プランニングコンテスト2024

あなたの一歩が 世界を変える。

2024年8月19日-8月21日

※8月3日に事前オンラインセッションを開催

コンテスト上位入賞者(若干名)は、JICA本部(東京)等での研修を2024年秋頃に予定しています。

「国連など国際機関で仕事するには何をしたらよいのか」
「何を学んだら良いのか。留学は必要なのか」
「学校での学びがどう実務につながるのだろうか」
国際開発の世界での仕事に興味を持ちながらも、具体的になにをすべきなのかわからず漫然とキャリアを歩む人は少なくありません。
本コンテストの参加者は講義やケーススタディ、フィードバックを通じて、国際開発の最前線で活躍するプロフェッショナルたちからその考え方を学べます。
国際機関や政府、民間企業などさまざまな組織で国際開発に携わるプロフェッショナル、そして同じ志を持ち全国から集まった同世代の仲間たちとつながれるのも魅力の一つです。
ぜひこの貴重な機会を逃さずにチャレンジしてください。

プログラムの特徴

- 1 国際開発の概要やトレンドをわかりやすく知ることができる
- 2 国際開発分野で活躍するために必要な論理的思考力やコミュニケーション能力を学べる
- 3 経験豊富なプロフェッショナルからの学びや交流を通じて自分の関心分野を深め、キャリアの選択肢を広げられる
- 4 チームワークや交流会を通じて国際開発のプロフェッショナルや同じ関心をもった学生とつながれる

コンテストの内容

国際開発に関する講義 / 課題解決トレーニング
グループワーク / 課題解決プランニング / プレゼンテーション / 講師陣による講評 / キャリア座談会 / 交流会 / 学生同士のフィードバック

※プログラム修了者には修了証書を授与

講師

国際開発の第一線で活躍する講師が講義を行います。

真鍋 希代嗣

京都大学成長戦略本部特任准教授
元世界銀行コンサルタント
元 JICA 外部専門家、元マッキンゼー

樋口 辰徳

国際協力機構 (JICA) 民間連携事業部
企業連携第1課 課長、元経営コンサルタント
元国連代表部外交官

ゲストスピーカー

ハジアリッチ 秀子

国連開発計画 (UNDP) 駐日代表

※講師・スピーカーは変更の可能性があります

申込情報

期待する受講生像 (高校生および大学1・2年)

どうすれば国際開発に関係する職業につけるか関心がある

将来グローバルな課題解決を仕事にしたいと思っている

SDGs のようなグローバルな課題に関心がある

募集人数 50名程度

※ 申込多数の場合、選考の上、2024年7月28日までに可否をご案内します

申込締切 **2024年7月21日**

申込先 <https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/event/place/other/15600.html>



参加費 無料

<コンテスト会場までの交通費及び食費は自己負担>

問合せ先 ims@saci.kyoto-u.ac.jp



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

MMFE

受講生の声 ①

国際協力の潮流の変化は初めて聞くことが多かったのと同時に、理解しておくことの重要性を強く感じました。自分が知っていることは国際協力の多様性のうち、ほんの一部に過ぎないこともよくわかりました。

受講生の声 ②

国連で何を話し合っているのか、国連の派遣はどのようなものかなど具体的な国際機関や国際開発の話題が多く興味深かったです。調べるだけでは分からない実際の状況を知ることができました。

受講生の声 ③

開発の奥深さを知り、必ずしも開発はキラキラしたものではないとわかりました。今でもいろいろ考え続けていますが、このコンテストに参加することで深く考える機会をえることができたことに感謝したいです。